

『強度行動障害のある人のことを

知ろう！わかろう！かかわろう！』

令和6年10月31日(木)に金沢市強度行動障害理解促進事業の研修会が開かれました。

この事業は、強度行動障害の状態にある人のことを知り、障害があってもその人らしく生活していくために、どのようなかかわりが必要なのか、ご家族や福祉サービス事業所、教育機関、医療機関などさまざまな立場の方々と共に考え、手を取り合っていくためのきっかけづくりとして、新たにスタートしました。



国立のぞみの園 日詰正文氏

第1回目の研修会は、講師に国立重度知的障害者総合施設のぞみの園の日詰正文氏をお招きして、『チームで考える強度行動障害の対応』と題し講演をしていただきました。

参加者は62名、ご家族、福祉・教育・医療、さまざまな立場の方が研修会にお集まりくださいました。



研修会の様子

日詰氏の講演では、強度行動障害の基本的な考え方についてわかりやすく説明いただいた後、グループワーク、座談会と続き、グループメンバーは「ごちゃまぜ」に構成されているからこそ、普段は聞けないお互いの思いを知る、とても貴重な時間となりました。

研修会でご講演いただいた日詰氏を始め、お忙しい中お集まりいただきました参加者の皆さまには深くお礼申し上げます。

【参加者の声】

- ・いろいろな立場の方々と話し合いができ、それぞれの立場の話や考え方を聴くことができ良かった。(ご家族)
- ・いろいろなアイデアを出し合うこと、考えを知ることの大切さを感じた。次回も参加したい。(ご家族)
- ・ご家族の声を聞くことができ、とても貴重な時間となった。(医療関係)
- ・情報交換ができたり、現在の問題点を共有し、アイデアを出し合えた有益な時間だった。(福祉関係)